



「下水道管路全国特別重点調査」 の結果報告について

令和7年1月28日に埼玉県八潮市で発生した下水道管路の破損が起因となった道路陥没事故を受け、国土交通省が設置した「下水道等に起因する大規模な道路陥没事故を踏まえた対策検討委員会」において、下水道管路の全国特別重点調査を実施すべきとの提言がとりまとめられたことから、本調査を実施しましたので結果を報告いたします。

■調査対象

内径2mかつ、1994年度（平成6年度）以前に埋設（設置、改築）された管路
※埋設後30年以上経過した管路

■桐生市の状況

種別	管路延長	内径2.0m以上延長	調査対象延長	比率
污水管	584,591.9m	2,370.5m	1,445.3m	61.0%
雨水管	43,656.4m	16,325.3m	8,903.4m	54.3%
合計	628,548.3m	18,695.8m	10,348.7m	55.4%

※比率：調査対象延長/内径2.0m以上延長

■調査概要

(1) 実施期間

令和7年12月から令和8年2月

(2) 調査方法

テレビカメラ、潜行目視により管内の状況を調査

(3) 調査結果

調査対象の下水道管路に、緊急度Ⅰ・Ⅱに該当する「腐食」、「破損」、「たるみ」等は確認されませんでした。

※ 緊急度Ⅰ：速やかな対策を実施（原則1年以内）

緊急度Ⅱ：応急措置を実施した上で、5年以内に対策を実施



【問い合わせ・担当】

水道局下水道課担当 小玉

0277-32-4349